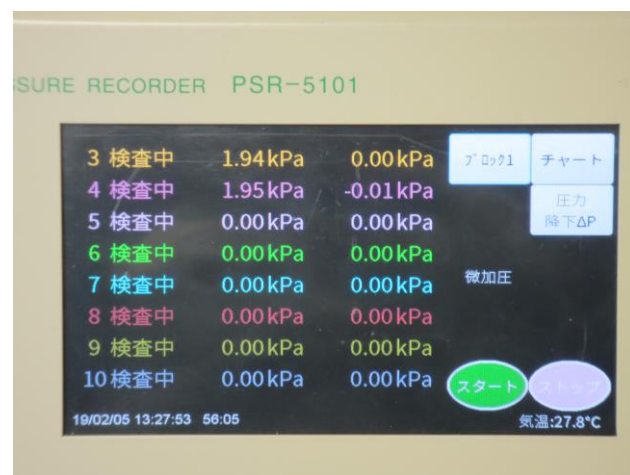


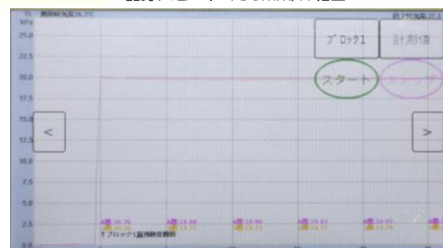


地下タンクリークテスタ 2重殻タンク外殻の減圧法試験対応

測定項目	圧力、温度 (気温)
測定レンジ	加圧・減圧 20/50/100kPa/-20kPa 微加圧・微減圧 2 /-2 /-4/-10kPa
ユニット	FU-501 加圧・減圧 20/50/100/-20kPa FU-502 微加圧 2kPa 微減圧 -2/-4/-10kPa
表示	気温 -10~50℃ デジタル、トレンド
分解能	加圧・減圧 -0.1kPa 減圧 -22kPa 微加圧、微減圧 0.01kPa 温度 0.02℃
圧力確度	加圧・減圧 ±2.0% of FS 微加圧・微減圧 ±2.5 % of FS
温度確度	± (0.2% of rdg+0.3℃)
測定チャンネル	最大 10CHでFU501/FU502の装着チャンネル分
記録フォーマット	スタート後、圧力の経時変化を記録する ピーク検出後、5分毎の経過時間と圧力値を300分まで自動印字 測定開始日付・時刻、開始時気温、終了気温の自動印字
チャートスピード	10インチタッチパネル液晶表示にグラフ表示 記録スピード 180mm/h相当

タンクローリリークテスタ

測定項目	圧力、上槽温度、下槽温度
測定レンジ	圧力 0~25.00kPa FU-502 使用時
表示	温度 -10~50℃ デジタル、トレンド
分解能	圧力 0.01kPa 温度 0.02℃
圧力確度	圧力 ±1% of FS
温度確度	± (0.2% of rdg+0.3℃)
測定チャンネル	最大 10槽でFU-502 装着チャンネル分
記録フォーマット	スタート後、各槽の圧力の経時変化を記録する ピーク検出後、5分毎の経過時間を60分まで自動印字 測定開始時刻の自動印字 提出用データ 消防様17の2に準じた報告書出力(定期検査実施結果一覧表) 消防様17の3に準じた報告書出力(定期検査実施データ)
チャートスピード	10インチタッチパネル液晶表示にグラフ表示 記録スピード 180mm/h相当



表示画面例

■標準構成 価格例

地下タンク 加圧・減圧 2CH/微加圧・微減圧 2CH 対応
本体+入力ユニット FU-501×1 枚+FU-502×1 枚
価格¥1,700,000-

タンクローリ・地下タンク兼用

加圧・減圧×2CH/微加圧・微減圧×2CH/タンクローリ×2 槽対応
本体+入力ユニット FU501×1 枚+FU502×1 枚+漏洩センサー-PLS220
×2 台+分配器 ARD300-4CH×1+報告書作成ソフト(UGT-Rep&TL-Rep)
価格¥2,280,000-

タンクローリ

タンクローリ×4 槽対応
本体+入力ユニット FU502×2 枚+漏洩センサー-PLS220×4 台
+分配器 ARD300-4CH×1+報告書作成ソフト(UGT-Rep)
価格¥2,690,000-

減圧モニタ

測定項目 減圧 液相部ペアリークテスターの減圧値の記録及びモニタ

測定レンジ	-22kPa
表示	デジタルトレンド
分解能	0.1kPa
圧力確度	±2.0% of FS
測定チャンネル	最大 10CHでFU-501の装着チャンネル分
零調整	
チャートスピード	10インチタッチパネル液晶表示器にグラフ表示 記録スピード 180mm/h相当

共通仕様

保存 USBポート USB挿入されていないとき内部SDカードに50データ保存
形状 462W×351D×252H 重量 約 10.0 kg
(参考従来品 PSR-4101 560W×400D×308H 重量 約 16.7 kg)
電源 AC100V±10% 50/60Hz

仕様は改良の為、一部変更になる場合もあります。

オプション

品名	型名	備考
加圧・減圧ユニット	FU-501	圧力2ch 温度
微減・減圧・タンクローリユニット	FU-502	圧力2ch タンクローリ温度 4CH
入力ユニット		
7.1インチタブレット		OS:アンドロイド
分配器	ARD-300	4CHから9CH(9CHまで増設可能)
ソフ	タンクローリ用	TL-Rep4 パソコンで報告書作成できるソフト
地下タンク用	UGT-Rep4	パソコンで報告書作成できるソフト
付属品一式	PSR-1100	USBメモリ・電源コード他

必要な治具や液相部検査機器等は総合カタログをご覧ください

⚠ ご使用上の注意

本カタログ製品は、取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

取扱店

地下タンク気相部 & タンクローリ兼用機器

PSR-5101

タンクリークテスタ

ユニット交換で3つの機能を実現

地下タンクリークテスタ:規則第62条5の2準拠
タンクローリリークテスタ:規則第62条5の4準拠
液相部ペアリークテスター減圧値モニター



株式会社プレックス

見えないものを**みる**

株式会社**プレックス**

930-0817 富山市下奥井1丁目20-13

電話 076-407-5400

FAX076-432-1031

URL <http://www.prex-com.jp>

タンクリークテストPSR-5101は、
 消防法規則第62条5の2に基づく地下埋設タンク、地下貯蔵タンク等の漏れ点検や、
 消防法規則第62条5の4に基づく移動貯蔵タンクの漏れ点検試験を行うときに使用する試験器です。
 又、ユニット交換により圧力記録計としても使用できます。
 地下埋設タンクの試験にはいろいろな方法がありますが、ユニットを選択することにより微加圧、微減圧
 加圧、減圧の全ての試験が可能です。
 移動貯蔵タンク即ちタンクローリの漏れ試験は窒素ガスによるガス加圧法を採用しました。
 1ユニット2チャンネル(2槽対応)で最大5ユニット(10槽)までの試験を行うことができます。
 また、USBメモリーポートを標準装備いたしましたので、データ管理が大変便利になりました。
 USBメモリから簡単に制御ソフトのバージョンアップができます。
 平成19年4月1日より追加された、2重殻タンク外殻の減圧試験ができます。

PSR-5101 タンクリークテスト

■特長

二重殻タンクの外殻減圧試験対応

地下タンクリークテスト

検査方法には加圧、微加圧、微減圧、減圧の4種類の試験に対応。
 入力ユニットは用途に応じ3種類用意されています。
 入力は最大10チャンネル(タンクローリ用含めて最大10チャンネル
 まで増設でき、4種類の試験を混在させることができます。
 同時測定も可能です。

タンクローリリークテスト

測定はピークを検出後に行います。
 入力は10チャンネルまで増設できます。
 地下タンクと兼用ユニット(FU-502)

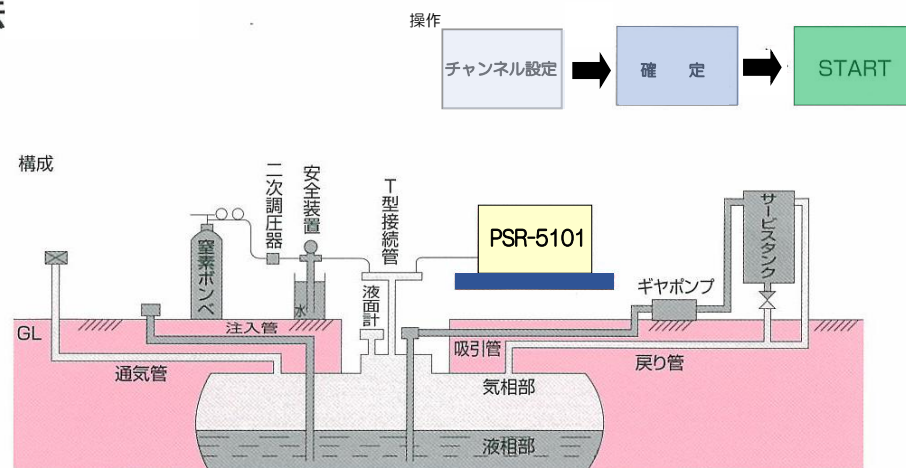
液相部減圧モニタ

液相部ベアリークテストの減圧設定値の
 モニター及び記録計として使用できます。

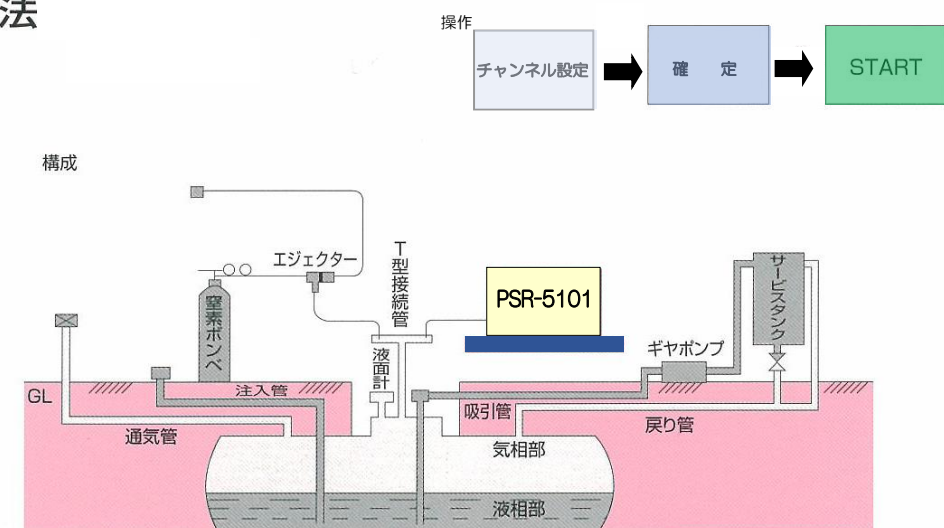


1 地下埋設タンク等の漏れ点検試験構成概念図

① 微加圧法

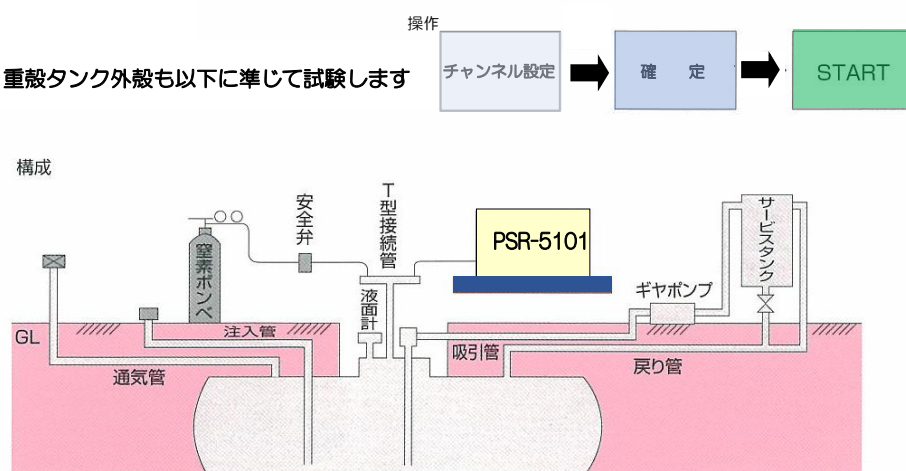


③ 微減圧法

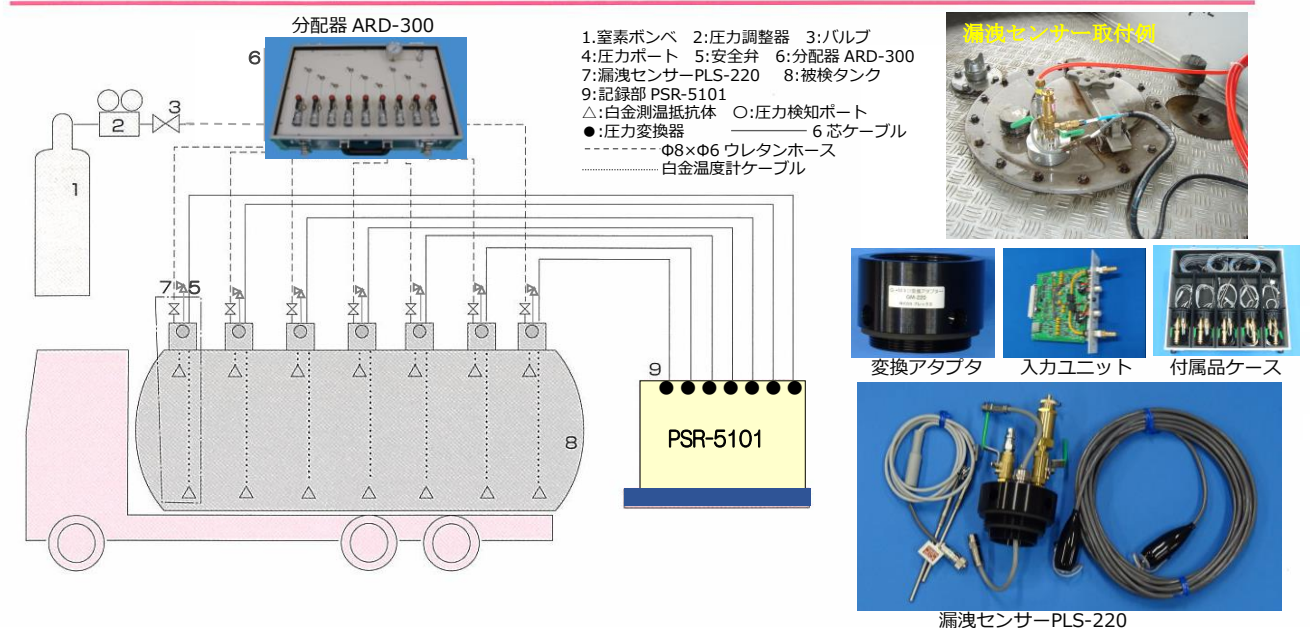


② 加圧法

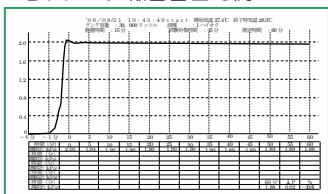
減圧法 2重殻タンク外殻も以下に準じて試験します



2 移動貯蔵タンクの漏れ点検構成概念図



地下タンク報告書出力例 30kLタンク



タンクローリ報告書出力例 (2槽)

